北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	哲学と社会思想A	科目コード	1120	単位数	3
担当者名	見附　陽介	開講セメスター	第1セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BPh105	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

社会思想が思想である限り、哲学と不可分の関係にある。さらに社会思想が社会から発生する限り、それは多様な生活意識と必然的に結びついている。本講義では、このような観点から古代および中世ヨーロッパにおける古典の哲学・政治学について学ぶことで、グローバル時代のビジネスを通じて様々な国・文化の人々と交流する際に求められる国家、社会、国際関係に関わる幅広い教養の習得を目指す。

到達目標

・政治理論の根底にある様々な哲学的思考様式を学ぶことによって、社会を形作る基本概念である権利、法、正義、道徳などについて多角的に考えることができるようになる。
・人間と社会に関する古代の思想とその歴史的発展を理解できるようになる。

授業内容

1週目 オリエンテーション：神話から哲学へ
2週目 古代ギリシャ①：ソフィスト
3週目 古代ギリシャ②：ソクラテス／理解度確認小テスト①（学内Wi-Fi使用予定）
4週目 古代ギリシャ③：プラトンの哲学
5週目 第１週ー第４週まとめ／第一回試験
6週目 古代ギリシャ④：プラトンの政治学
7週目 古代ギリシャ⑤：アリストテレスの哲学
8週目 古代ギリシャ⑥：アリストテレスの政治学／理解度確認小テスト②（学内Wi-Fi使用予定）
9週目 古代ローマ①：ヘレニズムの哲学
10週目 第６週ー第９週まとめ／第二回試験
11週目 古代ローマ②：キケロの思想
12週目 キリスト教①：原始キリスト教／理解度確認小テスト③（学内Wi-Fi使用予定）
13週目 キリスト教②：アウグスティヌス
14週目 第１週ー第１３週まとめ／第三回テスト
15週目 キリスト教③：トマス・アクィナス／前期授業の復習／テスト返却
16週目 テストフィードバック（質問受付）／再試験レポート対応（なお、期間中に休講があった場合は補講授業を行う）

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

講義題目の人物名・キーワードに即して参考書などを読み、事前に知識を整理しておくこと（30分程度）。思想の社会背景としての世界史の流れについても事前に把握しておくこと（30分程度）。配布されたハンドアウトや自分でまとめた授業ノートなどをもとに講義内容を復習するとともに、参考書などを使って補足的知識を自身で調べ学習すること（60分程度）。予習・復習どちらにおいても哲学者本人の著作をいくつか読んでおくのが望ましい。

成績評価の方法・基準

3回の試験および3回の理解度確認小テストの合計点によって評価する。ただし、授業態度が著しく悪いなどの場合は、減点措置をとることがある。

履修上の留意点

板書内容だけでなく口頭での説明なども積極的にノートに取ること。
また出席は基本的にすべての回に出席することを前提とし、６回以上の欠席がある者は評価の対象としない。
理解度確認小テストは学内Wi-Fiを用いてオンラインで実施する予定なので、各自スマホやタブレットなど通信機器を持参すること（ただし、授業中スマホなどを使わない場合は、しまっておくこと）。

課題に対するフィードバックの方法

試験に関して、問題構成の解説と解答および解答のための知識と理論の補足説明を行う。必要の場合には、復習として講義内容の再度の確認も行う。
また、理解度確認小テストの結果をその場でフィードバックし、補足説明等を行う。

テキスト

特になし。

参考書

佐々木毅著『よみがえる古代思想　「哲学と政治」講義Ⅰ』講談社学術文庫、2012年。
佐々木毅著『宗教と権力の政治　「哲学と政治」講義Ⅱ』講談社学術文庫、2012年。
その他、適宜講義中に紹介する。
教職課程をとる者は『学習指導要領』（文部科学省）も随時参照すること。

更新日付

2026/01/27 10:42